

令和3年10月部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和3年9月30日（木） 午前8時35分から午前10時10分まで

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・台風16号が関東地方に接近しており、進路によっては本市への影響も懸念されるため、いざというときは迅速に対応できるよう準備をお願いします。
- ・9月市議会定例会で出された御意見等について十分に検討し、各部局の事業に反映するとともに、補正予算など議決いただいた議案に基づく事業を速やかに進めてほしい。
- ・新年度予算案編成が本格化する時期を迎えた。本市では、社会保障経費や公共施設の長寿命化をはじめとした財政需要などにも対応する必要がある、今後も厳しい財政運営が見込まれる。新年度予算は、新たな市長の下で最終的にまとめられることになるが、今まで以上に「選択と集中」を徹底し、将来世代に負担を先送りしない財政運営が必要ということを念頭に置いて、予算編成を進めるようお願いする。
- ・長野地域の新型コロナウイルス感染症感染警戒レベルが「3」に引き下げられた。医療関係者の御尽力と保健所の対応により、感染第5波においても医療提供体制を維持できた。一方で市内経済は更なる打撃を受けている。市では、「押し店プラチナチケット第2弾」を来月9日から販売開始し、地域経済の回復を進めていくとともに、10月に毎週のようにイベント開催する。新型コロナの再拡大に備え、感染防止対策をしっかりと行いながら、市民の皆さんに楽しみを提供し、まちのにぎわい創出につなげていきたい。
- ・10月31日には長野市長選挙が行われ、衆議院議員選挙も間もなく行われることとなる。服務規律を確保し、市民から疑惑を持たれるような行為は絶対にしないよう、各部局において職員へ周知してほしい。
- ・先日、長野地方卸売市場において長野市産ブドウのトップセールスを行った。職員の皆さんには、自分で買って食べるだけでなく、県外の友人や親戚に長野市産のフルーツをPRしてもらいたい。

1 協議事項

(1) 被災者に対する住宅再建の支援について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

○質疑

〔市長〕災害公営住宅の建設は「断念せざるを得ない」という説明であり、それで良いのだが、私の立場とすれば、周囲の民家から離れた場所で、しかも盛土した不便なところに住まわせるべきではないということである。

〔建設部長〕市長の考えを地元住民に説明する場も設ける。

○今後の方向性

原案を了承。

(2) 指定管理者候補団体の決定等について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑なし

(3) 第二期長野市農業振興アクションプラン(案)に対する市民意見等の募集(パブリックコメン

ト)の実施について（農林部）

標記事項について、農林部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑なし

（4）戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画の策定について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（行政）から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑

〔副市長〕戸隠伝統的建造物群保存地区に関しては、建物の整備計画と防災計画の二本立てとなっている。資料にはそのことを記載し、全体像をつかめるようにした方がわかりやすい。また、火災等の際には、最寄りの飯綱分署からでも15分程度はかかると思う。消防局と協議し、地元の消防団に実際に使える装備を優先的に配備し、中心となって対応してもらうなど、現実に機能する体制を整備すること。

〔消防局長〕地元消防団等と連携して体制整備に努める。

〔教育次長（行政）〕建築物の整備の実績と予定なども資料に加え、防災計画と一体として示す。消防局とは引き続き協議しながら進める。

〔財政部長〕過疎債については、どのくらい見込んでいるか、また地域・市民生活部とは調整したか。

〔教育次長（行政）〕過疎債活用の期限である令和8年度までに、全体で1億9千万円の事業費を見込んでいる。そのうち1億1千万円程度が国・県からの補助であり、残りの8千万円程度について過疎債を活用したい。地域・市民生活部とは協議している。

〔財政部長〕過疎債の対象とならない場合には一般財源となるので、それも踏まえて調整をお願いしたい。また、事業期間が令和13年度までとなっているが、令和9年度以降に予定しているハード事業を過疎債が使えるよう前倒しすることはできないか。

〔教育次長（行政）〕市が主体となって短期的に実施可能な事業は令和8年度までに行う。残った事業については、今後検討する。

○今後の方向性

原案を了承。

（5）持続可能な消防団組織の構築について（消防局）

標記事項について、消防局長から説明し、協議を行った。（資料5参照）

○質疑

〔保健所長〕大規模災害団員制度について、「大規模災害」の具体的基準はあるか。

〔消防局長〕原則としては、市災害対策本部を設置する災害である。

〔財政部長〕個人への直接支給について、消防団の了解は得ているか。

〔消防局長〕御理解いただいている。

〔企画政策部長〕大規模災害の基準について、資料に記載した方が良いのではないか。

〔消防局長〕記載する。

○今後の方向性

原案を了承。

2 その他

（1）長野地域スクラムビジョンの達成状況について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明を行った。（資料6参照）

○質疑なし

(2) **ながの女性リーダーズクラブの設置について**（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明を行った。（資料7参照）

○質疑なし

(3) **令和4年度予算編成方針及び財政推計について**（財政部）

標記事項について、財政部長から説明を行った。（資料8参照）

○質疑なし

(4) **統一的な基準による財務書類の作成報告について**（会計局）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明を行った。（資料9参照）

○質疑なし

以上